

聖書勉強会に参加して

ヨハネ・レオナルド 国分 正孝

2002年10月に黒羽英雄さんにお会いした時、山口神父様の聖書勉強会へのお誘いを受けました。

聖書に無知な私でしたが、神父様の分かりやすい説明と解説によって次第に私を勉強会にのめり込ませました。勉強会の前には出来るだけ下読みをしてから出席するのですが、読むだけでは何を意味しているのかさっぱり分かりません。神父様が聖書を音読しながら、その都度当時の時代背景、歴史的事実等をかみくだいて話されます。それが初めて、なる程そうだったのかと合点がいきました。聖書の言葉には一言一言に隠された意味があることを知り、奥行きを痛感しました。

勉強会から自宅に戻ると、一番印象的に残った箇所を妻に話して、ひと時、夫婦で聖書について会話が弾んでおります。

勉強会が進む中で、私達が日常よく使う「目からウロコが落ちる」という表現は「サウ口の回心」使徒言行録9章18節「すると、たちまち目からうろこのようなものが落ち、サウ口は元どおり見えるようになった。」から出た言葉と初めて知りました。このような体験がはたして私にあったかどうかと自問自答しました。このような体験は、30年ほど前、マリッジエンカウンターに参加して夫婦間の会話の大切さを教わった時の衝撃でした。これを契機に教会の色々な会合に参加する様になり、神父様や皆様のお陰で1977年4月9日に受洗することができました。



その後、仕事で出張が多くなり、教会から遠ざかっておりましたが、会社を退職し、山口神父様の聖書勉強会を通して再び教会に一步近づき、家族で御ミサを受ける回数が増えました。これからも聖書の世界と日常生活のかかわりを、更に深める様に努力を続けて行きたいと思っております。